

2023.11.1

手作りの石包丁で稲穂を集める生徒ら



石包丁で「穂首刈り」挑戦

青谷高生が古代米収穫

鳥取市

鳥取市青谷町の青谷上寺地遺跡内で、地元青谷高の3年生らが古代米の穂刈りを体験した。手作りの石包丁を使って弥生人と同じ「穂首刈り」に挑戦し、弥生時代の暮らしへの関心を深めた。

古代米は同高と青谷小の児童生徒らが6月、約千平方メートルの水田に自らの手で田植えをしたもの。3年生は稲を植える際の間隔によって収穫量に差はあるかなどを体験するために、実験水田の田起こしにも取り組ん

だ。

この日は5人の生徒が参加し、稲の穂だけを刈り取る穂首刈りに挑戦。こつをつかむと手首のスナップをきかせながら、手早く穂を集めた。稲の根元から切る根刈りも行い、ひもでまとめて天日干しした。

米沢歩叶さん(18)は「古代米は初めて食べる。本当においしいのか確かめた」と話した。

収穫量は約360キログラムを見込んでおり、学校給食などで児童生徒らに提供される。

(安井桃華)

三本社HOLIC動画